

# 育成 モノづくり人材

Vol. 90

愛知県立碧南工業高校



稻垣校長

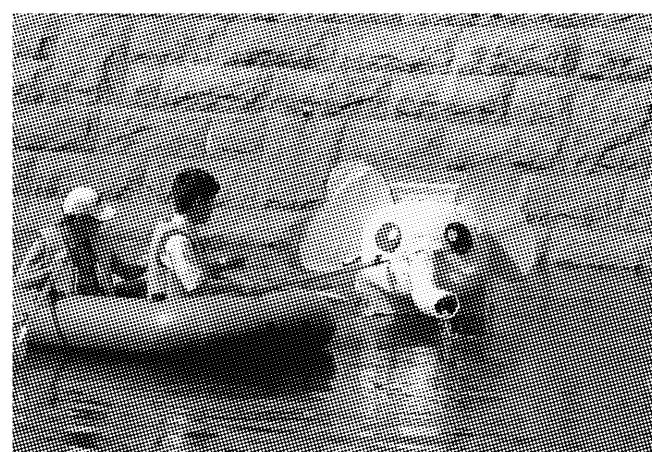
モノづくりが盛んな  
愛知県三河地域にある  
碧南工業高校。「人間  
教育する」と技術を  
育てる」（稻垣孝臣校  
長）方針のもと、2年  
生全生徒のインター  
ンシップ（就業体験）を  
必須とするなど、地元  
の製造業を下支えする  
人材の育成に尽力して  
いる。技能検定で実績  
をもたらしたり、仕事内  
容が合うのか合わない  
のかを感じてもらつた  
りするのが狙い。

**【DATA】** ▷校長＝稻垣孝臣氏 ▷所在地＝愛知県碧南市 ▷学科構成＝〈全日制〉機械科、電子工学科、建築科、環境工学科 ▷生徒数＝707人 ▷主要設備＝マシニングセンター(MC)、フライス盤、溶接設備、3Dプリンター、シーケンス制御装置 ▷主な進路＝トヨタ自動車、デンソー、ジェイテクト、ニッセイ、豊電子工業、愛知工業大学など

## 環境対策でも地域に貢献

重ねているほか、全国初で愛知県唯一の環境工学科を持ち、環境対策を進める企業から評価を得ている。インターネットは3、4日間通い、仕事に興味を持たせ、働く技能が身に付きにくく、名古屋市を流れる堀川

就業体験後に「力にい」(同)ため、技能検定科では、排出ガスなどを測定する。試験日の約3カ月で汚された大気や水の分析や汚れた原因の調査、浄化技術などを学ぶ。少なくない就職率は、多くの時間を割く。「経験を積んで成長した結果、地元製造業が中心。%台で推移している。3、4日間通い、仕事に興味を持たせ、働く技能が身に付きにくく、名古屋市を流れる堀川



名古屋市の堀川でのコンテストに参加した河川浄化口ボット

（同）と胸を張る。  
今後、現場で事故などを起こさないための安全教育をさらに徹底するほか、図面を読み取る力の向上などで、企業に求められる人材の育成に力を入れる。（名古屋・市川哲寛）（金曜日に掲載）

めている。で河川を浄化する口ボットのコンテストに参加している。凝集沈殿評価は高い。生物での有機物分解、活性炭での濾過を組み、地元企業に就職する生徒が多いこともあります。国大会、化學分析では、生物での有機物分解、活性炭での濾過を組み、「地域に根差して貢献」で実績を重ねている。環境工学